

名称	HFC-134a用カーエアコン 蛍光剤入り コンプレッサーオイル
用途	HFC-134a用カーエアコン コンプレッサーオイル
形式	エアゾール
成分含有量	潤滑油基油・潤滑油添加剤・HFC-134a・その他
内容量	50g
警告 火気厳禁 破裂注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>●<b>吸入・飲用不可</b>: 人体に害がありますので、吸入したり飲んだりしないで下さい。</li> <li>●皮膚の弱い人は、かぶれる恐れがあるので、保護手袋を使用して下さい。また、使用後は手をよく水で洗って下さい。</li> <li>●引火性がありますので、火気に近づけないで下さい。</li> <li>●破裂する恐れがありますので、直射日光の当たる所や40℃以上の所、特にフロントウインドウーやリアウインドウーの近辺または座席の上などに置かないで下さい。</li> <li>●子供の手の届かない所に置いて下さい。</li> </ul>
応急処置	<ul style="list-style-type: none"> <li>●万一飲み込んだ場合、吐かせて、医師の診断を受けて下さい。</li> <li>●作業中、誤ってエアコンシステム内の液が目に入った場合、直ちに清水で十分洗浄し、異常がある場合は医師の診断を受けて下さい。</li> <li>●作業中、誤ってエアコンシステム内の液が皮膚、顔についた場合、直ちに清水で十分洗い流し、異常がある場合は医師の診断を受けて下さい。</li> <li>●使用中、気分が悪くなった場合は、直ちに使用を中止し、通気の良い所で安静にして下さい。気分が回復しない場合は、医師の診断を受けて下さい。</li> </ul>
使用上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>●上記用途以外には使用しないで下さい。</li> <li>●作業する場合は、汚れてもよい服装を着用して下さい。</li> <li>●作業する場合は、火傷をする恐れがありますので、手袋および火傷をしない服装を着用して下さい。また、エンジンルーム内の高温となる部品には、触れないように注意して下さい。</li> <li>●開缶（取付）の際には、液が目、皮膚に付かない様に注意して下さい。</li> <li>●作業の際、必ず安全メガネを着用して下さい。（失明防止）</li> <li>●本品をクリーニング装置に取り付けをする際、および外す際には、手を切る恐れがありますので、注意して下さい。</li> <li>●HFC-134a用オイル入りガス缶補充キットに取り付けする際、および外す際には、手を切る恐れがありますので、注意して下さい。</li> <li>●注入の際、空気・水分、およびゴミ等の異物が入らない様に注意して下さい。</li> <li>●誤って塗装面、アクリル樹脂、ABS樹脂に本品の液、およびエアコンシステム内の液が付着した場合は、速やかに水で流し、柔らかい布等で拭き取って下さい。〔蛍光剤用クリーナー（CP-UCLN）があります。〕</li> <li>●作業の際、本品はエンジンラジエーターの上に置かないで下さい。</li> <li>●本品には冷媒を戻さないで下さい。</li> <li>●本品に1MPa（10kgf/cm<sup>2</sup>）以上の圧力を加えないで下さい。</li> <li>●作業の際、日陰の外気温度が20℃以下と、外気温度が35℃以上の場合は、注意して下さい。</li> </ul> <p>例 1: 15℃の場合、高圧ゲージが0.62MPa以下でセットする様にして下さい。                  2: 40℃の場合、高圧ゲージが1.90MPa以下でセットする様にして下さい。</p>

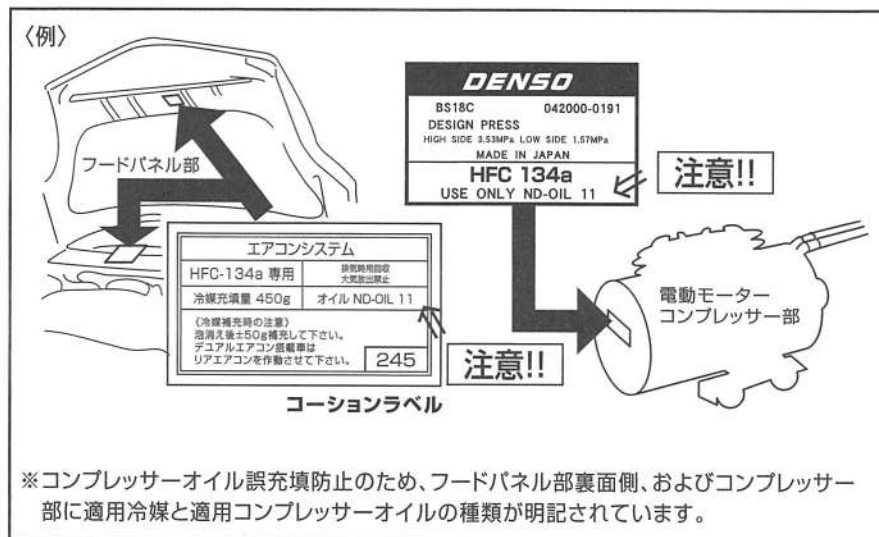
使用上の注意	<p>高圧・低圧ゲージの異常が有るとき、または全く冷えない、異音の発生などの場合には、カーエアコンのガス入れ修得者がエアコントラブルシューティングを参照してください。修得者がいない場合は触らないで下さい。</p> <p>本品を40℃以上に暖めないで下さい。                  作業終了後は石鹸で手を洗って下さい。</p>
クリーニング装置	<p>◎<b>クリーニング装置</b>を使用する時</p> <p>①作業前に本品のオイルガス缶をクリーニング装置のケミカルガス缶の取付け口にセッティングをして下さい。                  （デンゲン製クリーニング装置は自動でカークーラーに充填されます。）</p> <p>②カークーラーにクリーニング作業のガス充填が終了したとき、必ずエンジンを回して下さい。                  オイルガス缶を追加補充されるときは、アイドリング状態にしてオイルガス缶を取り替えて下さい。                  新缶取り付け後は、エンジンの回転数を上げて、コンプレッサーがONしているときに、ケミカルガス缶手動スイッチを押すと（低圧圧力）は上昇し、しばらくすると低圧圧力が下がり低く落ち着くとオイルガス缶内のガスが無くなっています。（作業終了後、防塵よけ空気混入防止のために空缶をはずさないで下さい。）</p>
使用方法	<p>◎<b>HFC-134a用 オイルガス缶 補充キット</b>を使用する時</p> <p>①エンジンを止めて下さい。</p> <p>②低圧カブラを低圧側チャージングポートに取り付け（接続）して下さい。</p> <p>③接続ホース内の空気をエアパーズバルブを押して空気を「シュー」と抜いて下さい。</p> <p>④オイルガス缶は必ず口金を「上側」にして補充キットに取り付け（接続）してください。〔オイルガス缶の口金を、〈横または逆さま〉で取り付け（接続）すると、蛍光剤入りのオイルと液体ガスが噴出し、人体への目・衣服などに飛散することがあります。〕</p> <p>⑤エンジンをONして下さい。</p> <p>⑥オイルガス缶の必ず口金を「下側」にして、オイルガス缶を振りながらカークーラーのON状態にして、エンジン回転数を2000rpm位まで上げて下さい。                  （ガス缶を振っているとガスが無くなるのが判ります。）</p> <p>⑦オイルガス缶内のガスが無くなれば、エンジンはアイドリングまたはエンジンを止めて下さい。</p> <p>⑧低圧側のカブラをはずします。                  （空缶は口金のほごり防止及びチャージホース内への異物の混入を防ぐため、はずさないで下さい。）                  ガス缶を外されるときは、ガス缶内のガスが残っている時が有る為、口金は「上側」にし、噴出しに注意して缶を外して下さい。</p>
保管および廃棄方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>●保管の際は、破裂の原因となりますので、40℃以上になるところ、直射日光のあたる場所や錆の発生しやすい水・湿気の多い場所に置かないで下さい。</li> <li>●缶を落としたりして、缶に衝撃を与えないで下さい。</li> <li>●廃棄の際は、中身を使い切ってから、火の気のない戸外で、ガスを完全に抜いてから捨てて下さい。</li> </ul>
可燃性 火気注意	<p>高圧ガスを使用した可燃性の製品であり、危険なため、注意して下さい。</p> <p>①炎に向けて使用しないこと。 ②ストーブやコンロ等、火の気の付近で使用しないこと。                  ③温度が40度以上になるところに置かない事。 ④火の中に入れてはいけないこと。                  ⑤使い切って捨てる事。</p>

## PAG オイル入り ガス缶 使用禁止車のご案内

現在、ハイブリッド車の冷媒は134aを使用しており、エアコンオイルは**ND-OIL 11 (POE系)**が多く使用されています。

電動インバーターコンプレッサーが搭載されている車は、コンプレッサー内部の高電圧部とコンプレッサーハウジングとの絶縁のため、

**ND-OIL 11**などのオイルを使用しています。**POE系以外のエアコンオイルをご使用**なりましたと、コンプレッサーの電動モーターコイルが腐食し、漏電の恐れがあります。



**注** 弊社エアコンケミカル品のご使用の場合は上記のコーションラベルをご確認の上、使用禁止車種にはくれぐれもご使用されないよう、ご注意お願い致します。

注意：誤って**PAGオイル**を使用した場合、弊社では責任を負いかねます。

現状の134a用エアコンケミカルは**PAG系**を対象としています。そのため、トラブル防止のため、右記の**×使用不可**車種には“**PAGオイル**”使用の品名 **OG-1040F・OG-1040KF** を**使用**しないで下さい。

蛍光剤入り

## PAG オイル入り ガス缶 使用禁止車 詳細

メーカー	車種名	ハイブリッド	型式	対象年式	POE/PAG	使用/不可
トヨタ	プリウス (THS)	HV	NHW10.11	H9~15	PAG	○使用OK
	プリウス (THS2)	HV	NHW20	H15~	POE	×使用不可
	プリウス (THS2)	HV	ZVW30	H21~	POE	×使用不可
	プリウスα (THS2)	HV	ZVW4LW. 40W	H23~	POE	×使用不可
	アクア	HV	NHP10	H23~	POE	×使用不可
	サイ	HV	AZK10	H21~	POE	×使用不可
	エスティマ	HV	AHR10W	H13~18	PAG	○使用OK
	エスティマ	HV	AHR20W	H18~	POE	×使用不可
	クラウン	HV	GWS204	H20~	POE	×使用不可
	クルーガー	HV	MZU28W	H17~	POE	×使用不可
	ハリア	HV	MHU38W	H17~	POE	×使用不可
	レクサスRX450h (ハリア)	HV	GYL16W・15W4駆 GYL10W2駆	H21~	POE	×使用不可
	レクサスHS250h	HV	ANF10	H21~	POE	×使用不可
レクサスGS450h	HV	GWS191	H18~	POE	×使用不可	
レクサスLS600h	HV	UVF46	H19~	POE	×使用不可	
レクサスLS600hL	HV	UVF45	H19~	POE	×使用不可	
ホンダ	インサイト	HV	ZE1	H11~	PAG	○使用OK
	インサイト	HV	ZE2	H21~	PAG	○使用OK
	シビック	HV	ES9	H14~	PAG	○使用OK
	シビック	HV	FD3	H18~	POE	×使用不可
	CR-Z	HV	ZF1	H22~	PAG	○使用OK
	フィット	HV	GP1	H22~	PAG	○使用OK
日産	フーガ	HV	HY51	H22~	POE	×使用不可
	リーフ	(EV)	ZAA-ZEO	H22~	POE	×使用不可
三菱	アイミーブ	(EV)	ZAA-HA3W	H22~	POE	×使用不可
	アイミーブ	(EV)	ZAA-ZERO	H22~	POE	×使用不可
	ミニキャブ	(EV)	ZAB-U67V	H23~	POE	×使用不可

平成24(2012)年3月現在

印 = POE(ポリオールエステル)オイルのコンプレッサー搭載車はHFC-134aの**PAG**オイルが混入しないよう、サービス機器ツールには、ご注意ください。

●サービス機器ツールは**POEオイル**専用の「全自動回収・充填装置(カークリーニング装置)」及びマニホールド・ホース等の使用をおすすめします。